

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教科： 家庭 科目： 保育基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （鈴木麻）

使用教科書： （ 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ 家庭706 ）

教科 家庭 の目標：

- 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。
- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	子供の保育 【知識及び技能】 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解できたか。 【思考・判断・表現】 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供の保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度か。	○	○	○	13
	子供の発達 【知識及び技能】 生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子供の姿を通して理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 乳幼児期の子供の健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の発達について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子供の姿を通して理解できたか。 【思考・判断・表現】 乳幼児期の子供の健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供の発達について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組めたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	子供の生活と養護 【知識及び技能】 子供の生活と養護について理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な養護について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組むこと。		【知識・技能】 子供の生活と養護について理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 子供の生活と適切な養護について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組めたか。	○	○	○	16
	子供の福祉 【知識及び技能】 児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組むこと。		【知識・技能】 児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解できたか。 【思考・判断・表現】 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度等】 子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組めたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学期	子供の文化 【知識及び技能】 子供の文化、遊びと表現活動について理解し、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組むこと。		【知識・技能】 子供の文化、遊びと表現活動について理解し、関連する技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度等】 子供の文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組めたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70